

真室川小学校 河川愛護モニター通信

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問・報告と、出張所の回答をご紹介します。

質問1



川の岸の木がだいぶ成長し枝が川の方まで伸びていました。だれが切ってくれるのでしょうか？

答え



川岸の木を切るのは、管理している人(国や県)が行いますが一度に全てを切ることができないため、必要な場所から切っています。

質問2



橋のコンクリートの柱の部分に色つきのものさしみたいなものを書いてありました。何ですか？

答え



橋についているものさしのようなものは水防団の^{すいぼうだん}人達が活動する目安であり、住民の方に危険を知らせる目印です。



真鶴橋

質問3

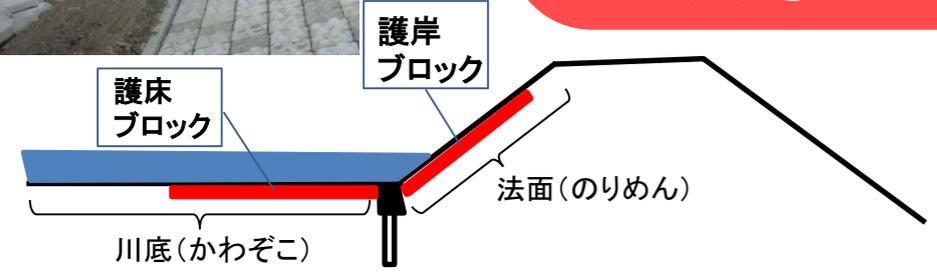


^{かわぞこ}川底を見たらコンクリートブロックのようなものがありました。何のためにうめたのでしょうか？

答え



^{ていぼう}堤防の^{のりめん}法面や川底を守るためのブロックです。法面を守るためのブロックを^{ごがん}護岸ブロックとい、川底を守るブロックを^{ごしょう}護床ブロックといいます。



【河川の水位の種類】

